

④永江ささえ愛カーシェアクラブ (米子市永江)

免許返納などで将来の移動手段確保が難しくなる高齢者が増える中、米子市永江地区では地域内の登録した会員間で自動車を共同使用する「コミュニティ・カーシェアリング」を展開。外出支援だけではなく、移動式のサロンとして利用者に安心と笑顔を届ける。

鳥取県と日本財団共同のプロジェクトを機に、2019年10月から活動をスタートし、1台の軽自動車を会員でシェアしながら運



利用者に安心と笑顔を届ける

住民の生活を支える「永江ささえ愛カーシェアクラブ」のメンバー



営。買い物や通院、墓参りなどの利用者のニーズに、住民のサポートドライバー10人が交代で対応している。移動距離は同地区から10キロ圏内。設立当時約30人だった会員は、自宅から目的地の往復できる利便性が口コミで広がり、6年目の今

年は128人が登録し、住民たちの生活を支えている。カーシェアサービスは移動手段の確保だけでなく、新たな地域コミュニティ形成にもつながっている。利用者にはコミュニケーションの場が少ない独居世帯の高齢者が多い。車内ではドライバーと会話が弾み「移動式のサロン」としての役割を担っている。

登録ドライバーの平均年齢が74歳を超えるなど課題はあるが、「利用者からの感謝の言葉が何よりのやりがい」とスタッフの表情は明るい。木下博夫代表(80)は「支えられる側、支える側にとっても憩いの空間になっている。活動を通じて生き生きと暮らせる地域づくりと生きがいの輪を広げていきたい」と期待する。